

はじめに

令和3年度の我が国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けており、特に飲食業・旅行業などでは、厳しい状況が続いております。2回の緊急事態措置並びに4回に及ぶまん延防止等重点措置により、弊協会も食堂利用者の減少、ポートオアシスの利用制限など直接、影響を受けております。ワクチン接種や治療薬の処方により、日常生活に戻り、コロナ前の状態になることを切に願います。引き続き感染拡大防止策に万全を期すとともに、利用者に喜ばれるサービスの提供、DX化などに取り組み、with コロナ、さらにはポスト・コロナの新たな時代にあったサステナブルな運営を追求してまいります。

さて、神戸港の令和3年1月から11月の累計コンテナ取扱個数は、前年同期比5%増の195万305TEU（1月20日神戸市港湾局発表）となっています。米国の需要の急拡大に伴う物流の混雑や、半導体不足、中国経済の減速など不透明な情勢にありますが、明るい兆しが見えて参りました。まだまだ、神戸港を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、政府はじめ神戸港関係者の皆さまによる集荷・創貨・競争力強化の取組みにより、神戸港の港勢が拡大していくものと確信しています。

また、現在、新港突堤西地区の再開発事業が進められており、弊協会は都心・ウォーターフロント内の文化創造産業複合エリアに立地しています。エリア内には企業の新社屋、併設文化施設が竣工するなど、昨年秋には劇場型アクアリウム、フードマーケット、ヴィンテージカーの展示施設が開業し、新しい人の流れができつつあります。併せて、三宮からハーバーランドまでの都心・ウォーターフロント内を循環する連節バス「ポート・ループ」も令和3年4月から本格運行を開始し、神戸ポートオアシス前（東行き）バス停も設置されました。弊協会もウォーターフロントの活性化、賑わいの創出に寄与してまいります。

なお、昨年4月～12月の食堂売上は、コロナ感染症の影響で利用者は減少しましたが、令和2年10月から皆さまのご理解とご協力のもと価格改定をさせていただきましたおかげで、前年同期比と同額の売上を確保できました。また、コンビニの売上は前年同期比4.4%の増加となっています。今後とも、満足いただけるようサービスの向上に努めてまいりますので、引き続きご利用の程、よろしくお願い申し上げます。

神戸ポートオアシス指定管理事業につきましては、令和3年4月1日から第2期の指定管理期間が始まりました。特に1階ピアハウス「オアシス」との相乗効果による施設利用が図られ、神戸港になくてはならない施設となっています。引き続き港湾労働者のための福利厚生施設、港湾地域での市民交流の場としての役割を果たせるよう施設運営に全力で取り組んでまいります。

住宅運営では、（一社）日本港湾福利厚生協会の施設整備助成金を活用して、住み心地を高める改修計画・工事施工により利用促進を図ってまいります。なお、平成29年度から始めた弊協会予算に

よる国産波止場共同住宅浴槽及び給湯器の設置工事につきましては、令和4年度も継続し、入居者の増加に取り組めます。

弊協会は各事業の管理運営にあたって、with コロナ時代に即した感染拡大防止に取り組み、安全・安心なサービス提供により事業運営を推進してまいります。

改めて神戸港における弊協会の役割を認識し、港湾労働者の福利厚生に寄与できるよう努力してまいりますので、これまで以上に関係各位のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1. 施設管理運営事業

(1) 総合厚生施設（神戸ポートオアシス）の管理運営

「神戸ポートオアシス」の令和4年度も、引き続き指定管理者として、利用者の立場に立った管理運営を行ってまいります。

ホール・会議室等の施設利用率向上を目指して、Google インドアビューとのリンクによるホームページの充実、パンフレットの配付、デジタルサイネージの活用、各種文化団体への訪問、SNS によるホールイベント情報等の発信等様々な情報媒体による PR、また学生を対象にホールでピアノ演奏(練習)ができる

「ピアノ練習開放デー」の実施、ホール運営業者による演劇、ダンス等の教室開催などの利用促進を図ってまいります。



研修会の開催様子



神戸ポートオアシス（イメージ図）

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、神戸市作成「感染拡大予防にかかる施設利用指針【貸会議室・劇場等共通】」を踏まえ実践するとともに、各種の感染防止機器等の配備やインターネット環境を構築し、ライブ配信、リモート会議など、with コロナ時代の需要に対応できるインフラの整備により、利用者が快適に過ごしていただけるよう更なる安全・安心な運営に努めてまいります。

(2) 港湾労働者休憩所（ピアハウス）の管理運営

本年度も、兵庫ふ頭から六甲アイランドまでの地域に設置する港湾労働者休憩所（ピアハウス）9ヶ所の管理運営を行ってまいります。

食堂運営は、協会における中核的事業であり、今後とも利用者のニーズに対応したきめ細かなサービスを行い、安定的な運営に一層努力してまいります。

なかでもピアハウス「オアシス」は、神戸ポートオアシスとの利用者サービスの相乗効果発揮のため、リーズナブルなパーティーメニューの提供、会議室へのケータリングサービスなどに努めてまいります。また、季節に応じたイベント、新たなメニューの提供を行う等、港湾労働者をはじめ多くの市民の皆さまにご利用いただけるよう、一層の魅力アップを図ってまいります。

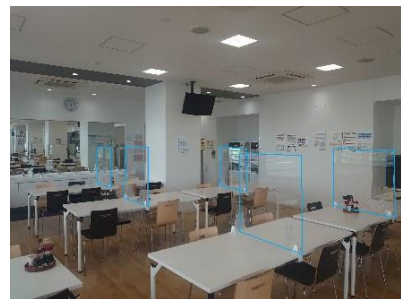
なお、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒やマスクの着用、余裕をもった座席空間の確保、ホールの換気などの徹底を図り、安全・安心な食事環境を提供してまいります。



ピアハウス「オアシス」(食堂カウンター)



パーティーメニューの一例



ピアハウス「オアシス」
(ホール・パーティション)

また、ピアハウス「エイト」では、より良い食事環境を提供するため、厨房内改修及び外装改修工事に引き続き、神戸市によるホールの内装工事を予定しています。それに伴う工事期間中(予定、令和5年1月～3月)の営業を休止します。ご不便等をおかけしますがご理解をお願いします。



ピアハウス「エイト」

緊急時の対策としては、ピアハウス7ヶ所に災害対応自動販売機を設置し、災害発生時の備蓄飲料用として対応いたします。

(3) コンビニエンスストア（ピア）の管理運営

港湾の364日24時間荷役に対応するため、神戸港の西部・東部地区に拠点設置している2ヶ所のコンビニエンスストアを引き続き運営してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、イートインコーナーには、飛沫感染防止のためのアクリル板を設置し、安全・安心な食事環境を提供します。



ピア六甲店（イートインコーナー）



ピア兵庫店

また、ポートアイランド地区については、軽食や飲み物などを提供する自動販売機を設置し、24時間対応のイートインコーナーを運営してまいります。

(4) 住宅施設の管理運営

鈴蘭台一ツ楯山共同住宅（196戸）、国産波止場共同住宅（165戸）及び鈴蘭台西町共同住宅（40戸）の共同住宅について、より快適な生活・住環境を提供するため、補修等維持管理に万全を期すとともに、住宅案内パンフレットの配付、各社住宅担当者を対象とした内覧会を実施する等一層の利用促進に努めてまいります。

なお、国産波止場共同住宅については、本年度も引き続き浴槽・給湯器の設置を協会予算で実施し、入居率・収益性の向上に努めてまいります。

また、令和2年度に港湾労働者用住宅に関するアンケート調査を実施した結果、単身者の入居希望が高い傾向にあることから、単身者用住戸の増設整備工事を計画し、今年度は鈴蘭台一ツ楯山共同住宅1・2号棟において増設整備（4戸）を実施いたします。



鈴蘭台一ツ楯山共同住宅



国産波止場共同住宅



鈴蘭台西町共同住宅

(5) 港湾労働者休憩所の管理運営

本年度も神戸市から業務委託を受けて、港湾労働者休憩所18ヶ所（兵庫、新港、摩耶、ポートアイランド及び六甲アイランドの各地区に設置）の清掃、冷暖房設備の運転・維持管理及び湯茶の提供等の管理運営を行ってまいります。

(6) パークーツ 欽山駐車場及び星和台駐車場の管理運営

パークーツ 欽山駐車場（75台）、星和台駐車場（72台）について、定期的な駐車場内の清掃など環境整備に努め、利用促進を図ってまいります。



パークーツ 欽山駐車場

2. 施設整備事業

(1) 港湾厚生施設整備事業

既存厚生施設について、本年度も施設の整備・改修及び維持保全に努めてまいります。

(2) 日港福助成施設整備事業

一般社団法人日本港湾福利厚生協会から助成を受けて、本年度は次の整備事業を実施し、港湾関係労働者の生活・住環境の改善等を図ってまいります。

<工事名>

- ・ 鈴蘭台一ツ 欽山共同住宅1～2号棟单身者用住宅整備他工事
- ・ 国産波止場共同住宅給水設備改修他工事
- ・ 国産波止場共同住宅1～2号館屋上防水改修他工事
- ・ 港湾労働者休憩所（ピアハウス）防潮止水板設置工事（摩耶・ポーアイ地区など）

3. 助成・補助等事業

(1) 契約保養施設利用への助成

福利厚生の一環として、契約保養施設（全国108ヶ所）の利用に対して助成を行うことにより、神戸港で働く方やそのご家族の余暇の活用の促進を図り、港湾関係労働者の福利厚生の推進に努めてまいります。



ピア六甲店（止水板設置）

(2) 教育・養成訓練への助成

港湾労災防止協会兵庫県総支部が実施する技能講習等への助成を通じて、港湾関係労働者の技能の向上並びに労働災害防止への活動を側面的に支援し、神戸港における港湾運送事業の発展に努めてまいります。

(3) 港湾殉職者慰霊祭の実施

令和3年度開催の第42回港湾殉職者慰霊祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、港湾殉職者顕彰碑運営委員会と協議のうえ、令和2年度に引き続き中止とし、関係者のみで顕彰碑への献花、拝礼を行いました。

本年度はコロナ収束を願いつつ、例年どおり実施する予定とし、殉職者の慰霊とともに、広く労働災害防止意識の高揚に努めてまいります。



神戸港港湾殉職者顕彰碑
(ポートアイランド北公園)